

# 平成21年(2009年)12月期 第2四半期累計決算説明会



コスモ・バイオ株式会社

2009.8.18

[www.cosmobio.co.jp](http://www.cosmobio.co.jp)

**JASDAQ**  
Listed Company 3386

## 目次

 人と科学のステキな未来へ  
コスモ・バイオ株式会社

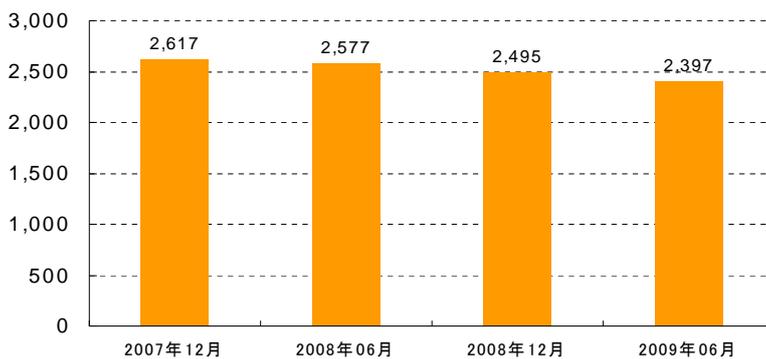
1. 会社概要と事業の内容
2. 2009年12月期 第2四半期累計決算の概要
3. 2009年12月期の見通しと今後の計画

## 会社概要

社名： コスモ・バイオ株式会社  
 業種： 卸売業  
 証券コード： 3386  
 本社所在地： 東京都江東区東陽2丁目2-20  
 代表者： 代表取締役社長 笠松 敏明  
 設立： 1983年8月  
 資本金： 918百万円  
 事業内容： ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の輸出入および国内販売  
 従業員数： 77名(他パート・派遣社員:25名)(単体)  
 連結子会社： 株式会社プライマリーセル  
 持分法適用会社： ビーエム機器株式会社

## 株式の状況

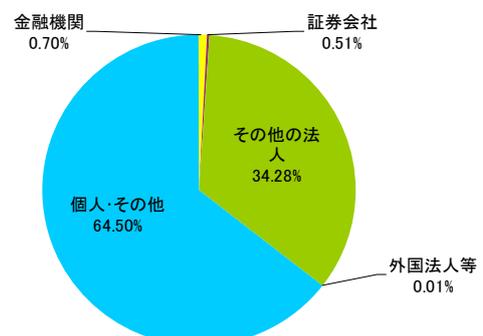
株主数の推移

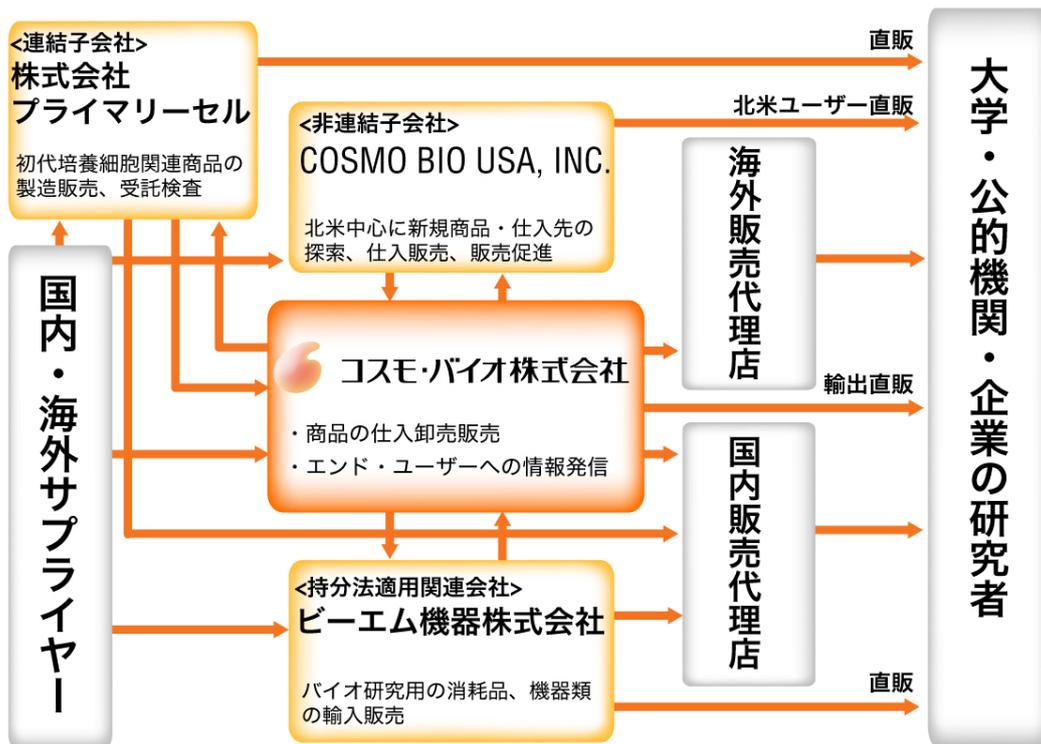


大株主状況

株主名	持株数(株)	持株比率
東京中小企業投資育成株式会社	11,520	19.0%
コスモ・バイオ従業員持株会	6,585	10.9%
コスモ石油株式会社	5,760	9.5%
福井 朗	3,000	5.0%
株式会社ブルボン	2,937	4.9%
原田 正憲	2,200	3.6%

所有者別株式分布状況





膨大な商品・情報と多様なユーザーニーズのマッチング

- ユーザーニーズに対応できる100万以上の豊富な商品
- 商品情報をデータベース化し、ユーザーが自在に検索可能
- 各種プロモーションツールによる専門性の高いサービス・情報の提供

〔ニーズとシーズのマッチング〕



## 主な商品の分類と売上構成

試薬  
90%

汎用試薬  
(バイアル単位で販売)

44%



応用試薬  
(用途に合わせて試薬等を  
セットにしたもの)

46%

創薬・受託  
サービス



機器  
7%



臨床検査薬  
3%

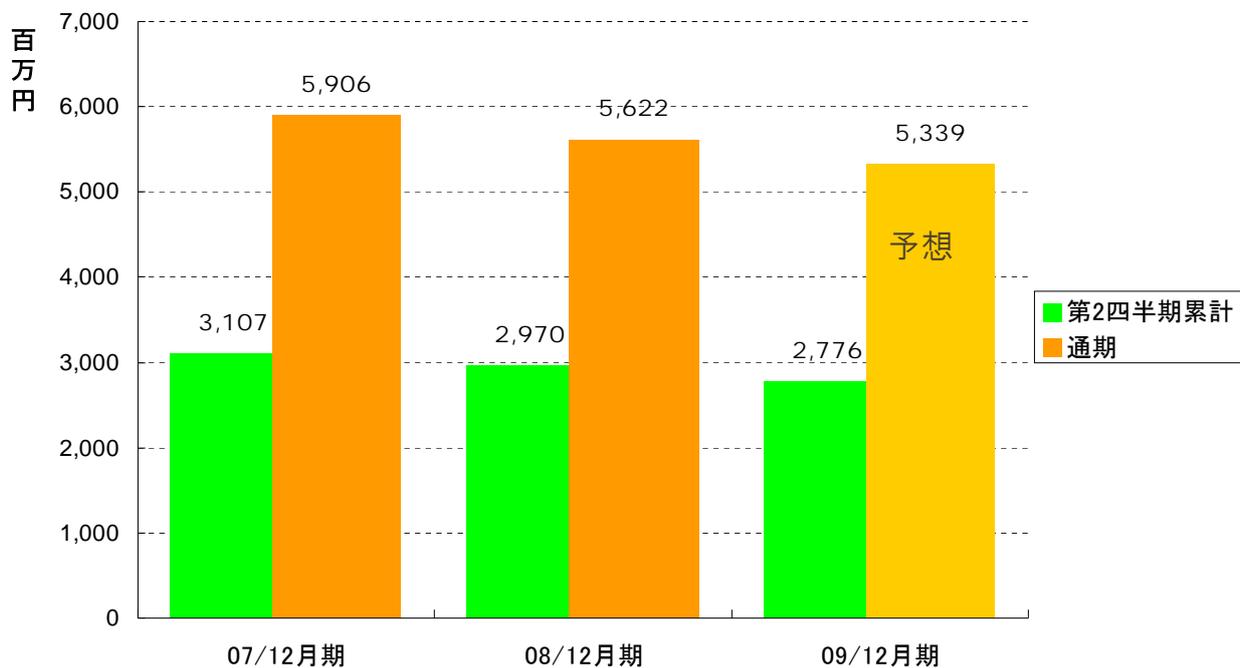
## 2009年12月期 第2四半期累計決算の概要

## 決算概況「連結損益計算書(前年同期比)」

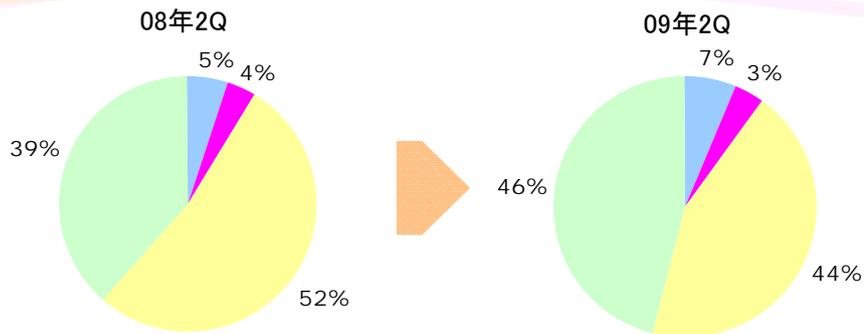
(百万円)	2008年	2009年	増減額	前年同期比
	第2四半期累計	第2四半期累計		
売上高	2,970	2,776	▲194	93%
売上総利益	1,171	1,138	▲33	97%
販管費	872	833	▲39	96%
営業利益	298	305	7	102%
経常利益	306	317	11	104%
当期純利益	▲118	197	315	—

## 連結売上高推移

- 仕入先の喪失により前年同期比▲194百万円となった



## 連結商品分類別売上

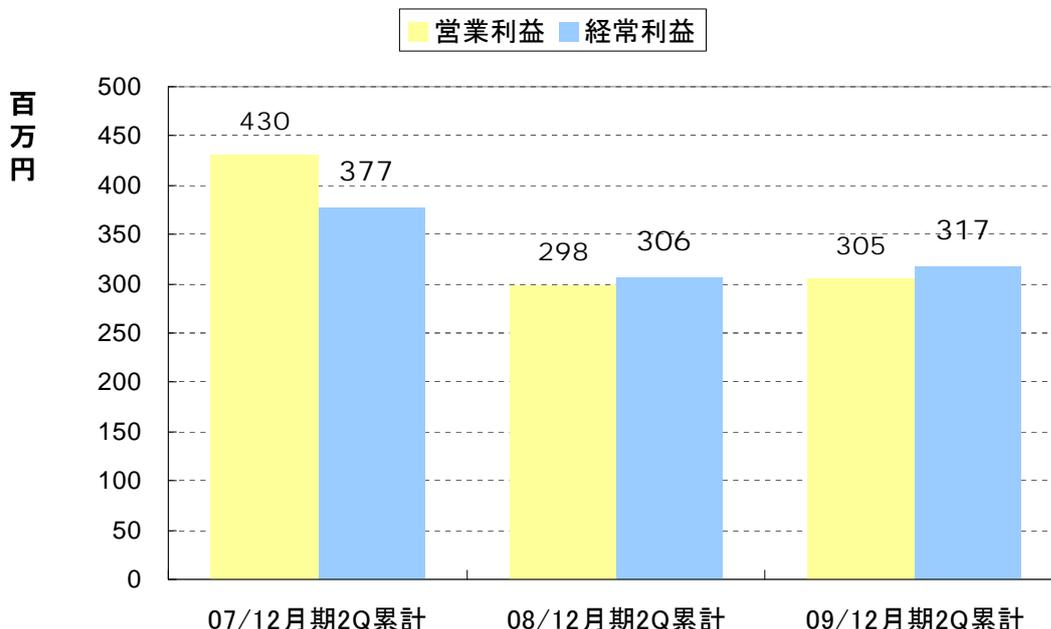


	08/12月期2Q累計		09/12月期2Q累計		増減額	前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
研究用試薬	2,704	91.0%	2,501	90.1%	▲203	92%
汎用試薬	1,559	52.5%	1,221	44.0%	▲338	78%
応用試薬	1,144	38.5%	1,279	46.1%	135	112%
機器	160	5.3%	181	6.5%	21	113%
臨床検査薬	105	3.5%	94	3.4%	▲11	90%
合計	2,970	100.0%	2,776	100.0%	▲194	93%

## 連結利益推移

### 増益要因

- 営業利益: 円高による仕入れ原価の減少による増加
- 経常利益: 上記に加えビーエム機器社による持分法投資利益の貢献



## 連結貸借対照表

(百万円)	2008年12月末	2009年6月末	増減額
総資産	5,194	5,328	134
流動資産	3,927	3,909	▲18
固定資産	1,267	1,418	151
負債合計	1,009	955	▲54
純資産合計	4,184	4,373	189
株主資本	4,292	4,424	132
評価・換算差額等	▲108	▲51	57
自己資本比率	80.6%	82.1%	

•資金の運用として有価証券の購入

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2008年 第2四半期累計	2009年 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	557	654	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	13	▲425	▲438
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲151	▲66	85
現金および現金同等物の増加額	418	161	▲257
現金および現金同等物の四半期末残高	1,137	1,368	230

•棚卸資産の減少  
 •仕入の減少による仕入債務の減少等

### 3. 2009年12月期の見通しと今後の計画



15

#### 2009年12月期の連結業績見通し



(百万円)	2008年12月期 実績	2009年12月期		対前年実績	
		予想(修正前)	予想(修正後)	増減額	増減率
売上高	5,622	5,339	5,339	▲283	▲5.0%
営業利益	447	341	381	▲66	▲23.8%
経常利益	464	371	409	▲55	▲20.1%
純利益	104	216	251	147	106.8%

	08/12月期	09/12月期(予想)
配当金	1,100円	1,200円

第2四半期の実績を取り込み、下期は当初予想通りに推移すると想定。

平均為替レート	08/12月期	09/12月期(計画)
円/USドル	105円	100円

## 目標達成に向けた今後の計画

1. コア事業の強化
2. ブランドの創造
3. 海外展開の加速
4. グループ間でのシナジー効果の創出

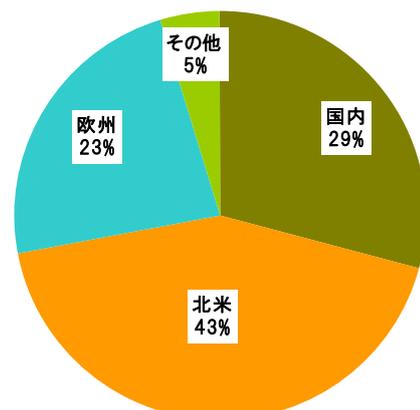
## 1. コア事業の強化「先端的商品の導入」

### ■ 先端技術を持った仕入先からの先端的商品の導入

#### ● 2009年

- 新規仕入先：目標50社以上に対し既に新規43社と契約
- 仕入先との信頼関係強化のため組織を強化

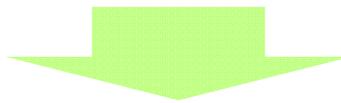
仕入先地域別構成



## 1. コア事業の強化

### 「差別化したサービスと効果的プロモーション」

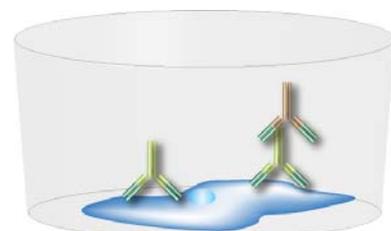
- WEBにおける販売促進活動の強化
  - ホームページのリニューアル・・・下期実施予定
- 新たな体制による組織営業の推進
  - 代理店、ユーザーとの密接な関係構築
  - 新基幹システム導入とその活用・・・5月稼働開始
- お客様窓口による専門的な相談サービスなど



お客様に信頼され喜ばれる

## 1. コア事業の強化「細胞関連分野の強化」

- 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団と細胞培養培地関連技術のライセンス契約を締結
- ヒト細胞の輸入販売及び、子会社のプライマリーセル社でヒト細胞を扱った受託サービスの開始
- コスモ・バイオグループ生命倫理委員会の設置・開催
- 今後
  - セルベースアッセイ商品ラインナップの充実
  - ヒト細胞機能評価のためのアッセイ系の確立
  - 各種細胞培養培地の開発
  - 大学等の研究機関及びグループ外企業との連携



## 2. ブランドの創造「社会的貢献」

### ■ 大学の公開講座等に協賛

- 2009年 第6回 公開講座応援団は11団体に協賛



団体名	応募講座名および目的
愛知県がんセンター研究所	高校生のための実験・体験コース「ノーベル賞に輝いた緑色蛍光タンパク質 (GFP) で細胞を光らせよう」
秋田県立大曲農業高等学校	「博士号教員と一緒にバイオ実験を体験してみよう！ -1日科学者体験講座」
宇都宮大学	中高生のためのバイオテクノロジー体験教室「クローン牛誕生の秘密に迫る！」
大分大学	「夏休み子供サイエンス2009」
帯広畜産大学	「DNA検査-米、肉、豆の品種鑑定をしよう！」
九州大学農学部附属農場	「体験！ 農業と食料・環境問題」
高知工業高等専門学校	「キャンパスアドベンチャー2009 秋」
東京工業大学生命理工学部	第18回高校生のための夏休み特別講習会「バイオの世界を探検してみよう」
福岡教育大学	小中学生のための科学実験教室「植物バイオの世界」
福島大学	「福島大学わくわくサイエンス屋台村」
和歌山工業高等専門学校物質工学科	「世界の化学・生物実験～Only One: 唯一の存在」

## 2. ブランドの創造「社会的貢献」

- 世界中のシグナル伝達の科学者たちのために創刊したオンラインジャーナル「Science Signaling」の日本語版サイトを提供



## 1. コア事業の強化「機器販売の強化」

- 関係会社、特にビーエム機器社との連携を強化
- 機器営業と試薬営業の密接な情報連携
- 電気泳動装置、PCR装置、超音波細胞破碎装置など小型の機器を中心に展開



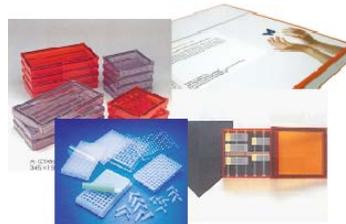
バーチャルスライド  
「toco(トコ)」

PCR装置  
「PIKOサーマルサイクラー」

超音波細胞破碎装置  
「Bioruptor」

コアフロント社  
「セルウォッチャー」

電気泳動装置  
「i-MyRun」



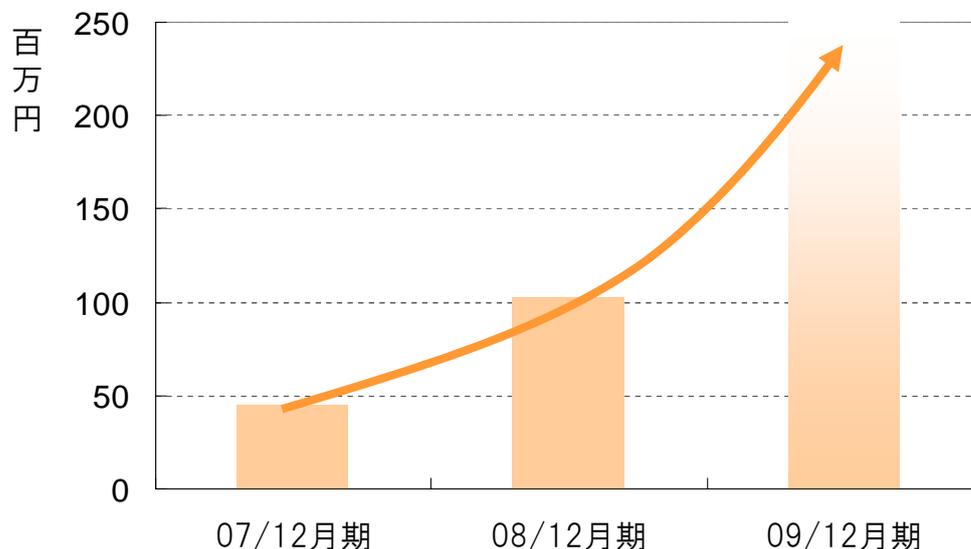
その他消耗器材



ビーエム機器社との  
シナジー効果

## 1. コア事業の強化「創薬支援」

- 専門知識を有する人材で構成されたチームで製薬企業のニーズにすばやく対応
- 順調に売上を伸ばす



## 2. ブランドの創造「質の高い情報発信と顧客サービス」

### ■ 学術ミーティング

- 多数のミーティングにおいてセミナーの開催及び展示会への出展

学会名	開催日	会場	開催地
第11回癌治療増感研究シンポジウム	2/14(土)~2/15(日)	猿沢荘	奈良
第36回フラーレン・ナノチューブ学会	3/2(月)~3/4(水)	名城大学	愛知
第8回 日本再生医療学会総会	3/5(木)~3/6(金)	東京国際フォーラム	東京
日本農芸化学会2009年度大会	3/28(土)~3/29(日)	マリンメッセ福岡	福岡
第98回 日本病理学会総会	5/1(金)~5/3(日)	京都国際会議場	京都
第6回 GPCR研究会	5/8(金)~5/9(土)	日本科学未来館	東京
第3回日本エピジェネティクス研究会年会	5/22(金)~5/23(土)	学術総合センター	東京
第18回日本バイオイメージング学会	9/3(木)~9/5(土)	就実大学	岡山
第29回 日本糖質学会年会	9/9(水)~9/11(金)	飛騨・世界生活文化センター	岐阜
第68回 日本癌学会	10/1(木)~10/3(土)	パシフィコ横浜	神奈川
第82回 生化学会大会	10/22(木)~10/24(土)	神戸ポートアイランド	兵庫
第39回日本免疫学会総会	12/2(水)~12/4(金)	大阪国際会議場	大阪
第32回日本分子生物学会年会	12/9(水)~12/12(土)	パシフィコ横浜	神奈川

## 2. ブランドの創造「質の高い情報発信と顧客サービス」

### ■ 印刷物

- 「コスモ・バイオニュース」



- 「リン酸化シグナル ハンドブック 第二版」の特集カタログを発行

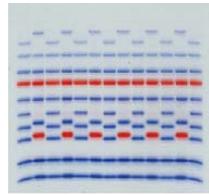


- 下期に細胞培養関連の特集カタログを発行予定

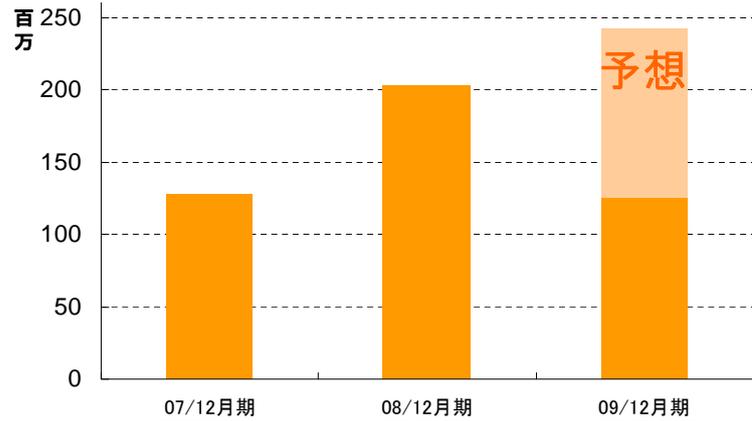
## 2. ブランドの創造「自社ブランド商品」

### ■ 高品質自社ブランド商品の充実

- 高品質抗体ブランド商品
  - CosmoBio Antibody Collection
- 高品質電気泳動関連商品
  - i-MyRun(あいみらん)
  - マルチゲル
- 高品質細胞培地
  - コスメディウム



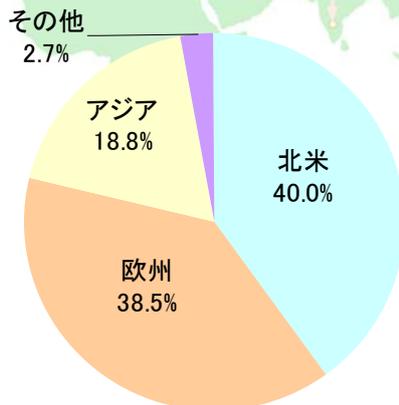
自社ブランド商品売上推移



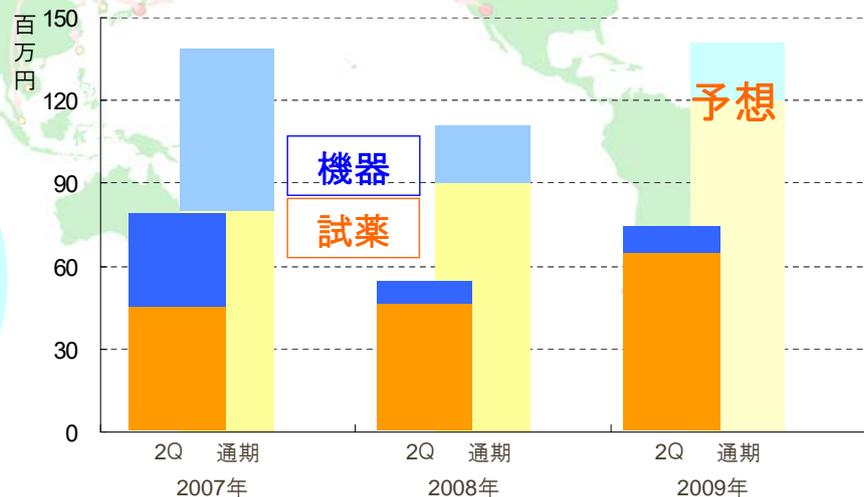
## 3. 海外展開の加速

- 試薬が好調で売上前年同期比36%増
- CosmoBio USAと連携した売上拡大
- Web、Eメール等を活用した効果的なプロモーション活動

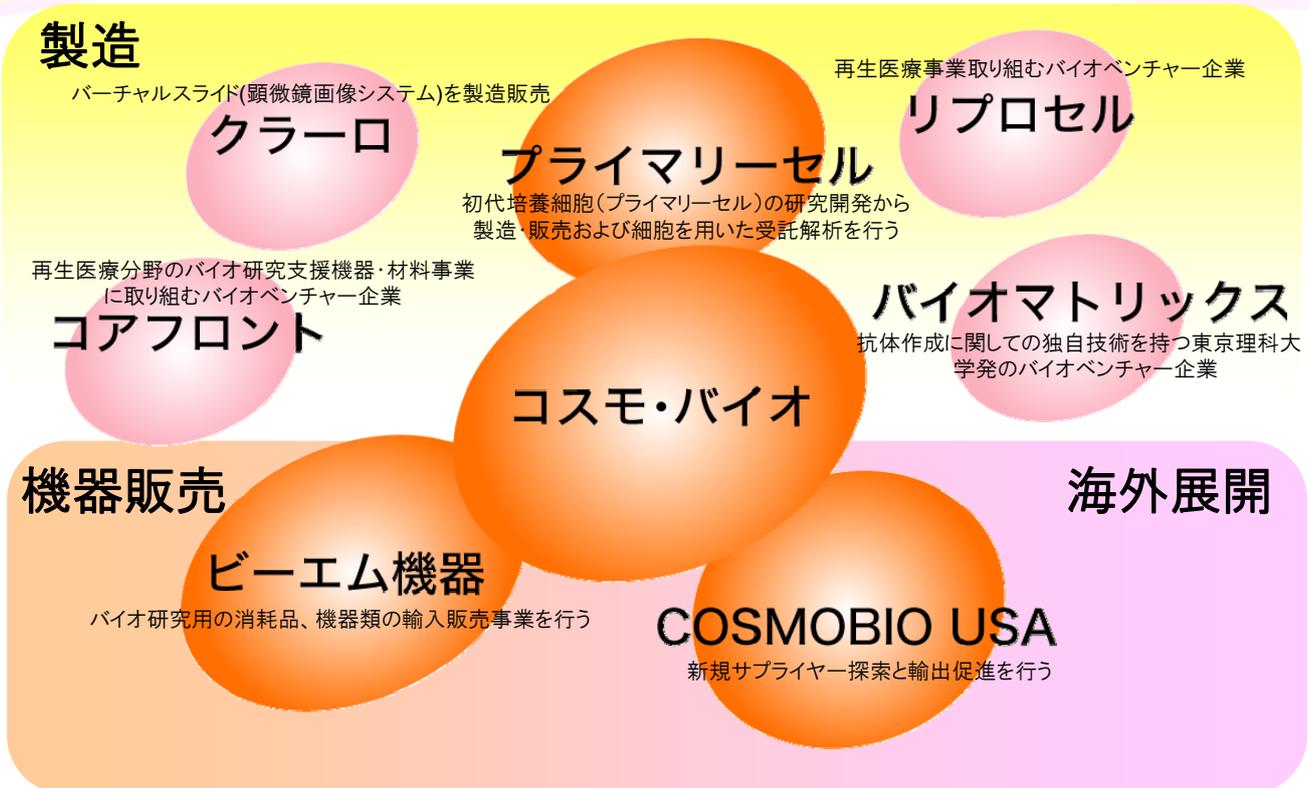
09/12月期2Qにおける  
販売先売上比率



輸出機器・試薬別売上推移



## 4. 子会社、出資会社とのシナジーの創出



## ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。